

社会・地理歴史・公民における一人一台端末を活用した授業案

校種・学年 分野（科目）	公民（公共）	单元名	A 公共の扉 (3) 公共的な空間における基本的原理
-----------------	--------	-----	-------------------------------

育みたい社会的事象について 調べまとめる技能	一人一台端末活用の効果	使用するアプリ
【情報を読み取る技能】 ・資料から情報を読み取り、課題の解決に向けて意見をまとめる。 ・さまざまな意見・利害に配慮し、公平・公正に調整して、合意を形成する。	・Google classroomから資料等の配信、回収、コメントの返信を行う。 ・共同編集することで、互いの意見を確認しながら話し合いを進め、学び合いを促進する。	・Google classroom ・Google スライド ・Google ドキュメント

★一人一台端末を活用する場面

授業の概要	「世界文化遺産の候補地になっている島に、本土への定期船に代えて橋を建設する。橋を架ける場所により、建設費や島民の利害状況が変化する」という設定のロールプレイを行う。課題の解決に向け、自分の意見を分かりやすく述べ、自分と異なる見解にも配慮して、多様な意見・利害を公平・公正に調整して合意形成を図ることが、協働の利益を確保するために大切であることを理解させる。	
	学習内容・活動	一人一台端末の活用ポイント
	○課題把握 ・資料を配布し、課題を把握する。 ・生徒を各町の立場(A町、B町、C町)に分ける。 ○個人ワーク ・それぞれの立場から、どの場所に橋を建設することが望ましいか考える。 ・他の案を採用するとしたら、どのような条件が整えば譲歩することができるか検討する。 ○グループワーク ・各町2名ずつ、6名のグループをつくる。 ・他の町と話し合っ、橋の建設場所・費用の負担額を決める。 ・グループごとに結果を発表する。 ○振り返り ・振り返りシートを配布し、入力させる。	・Google classroomをとおして、資料を配布する。 ・Google スライドを共有し、共同編集することで、他者の立場、意見を確認しながら、話し合いを進めることができる。話し合いの中で出た重要な意見等は、コメントに入力し記録することで学び合いを促進する。 ・各グループの発表に対して、コメント機能を用いて相互評価を行う。 ・Google classroomをとおして、振り返りシートを配布、回収し、教員はコメントを返信する。

★使用する教材等など

未来を切り拓く法教育～自由で公正な社会のために～ 「法教育推進協議会（法務省）」

○Google スライド等のイメージ

・個人ワーク

問1 どの場所に橋を建設するのが望ましいだろう？

私の立場 A町 望ましいと考える案 1案・2案・3案

理由

問2 他の各案を採用するとした場合、どのような条件を整えば、譲歩することができるか（どのような条件を整えば、他の各案に対して建設費用を負担することができるか）について検討しよう。

私の立場 A町 望ましいと考える案 1案・2案・3案

案について

案について

・グループワーク

問3 他の町と話し合って、橋の建設場所・建設費用の負担額を決めよう。

グループの結論 1案・2案・3案

理由

各町間の調整

・振り返りシート

振り返りシート

1 最全体の懸念の根本的な解決を図るという観点から検討することができたか。

できた。 できなかった。

【理由】

2 建設費用の負担について、合理的な検討ができたか。

できた。 できなかった。

【理由】

3 他の町の立場の意見も尊重し、各立場にとってのデメリットについて、それを克服するための適切な方策を講じたことができたか。

できた。 できなかった。

【理由】

4 自分の考えた案とは異なる案で合意された場合、自分の町にとって有利な条件を引き出すことができたか。

できた。 できなかった。

【理由】

5 課題の解決に向けて、自分自身で考え、自分の意見を積極的に分かりやすく述べることができたか。また、自分と異なる見解にも十分配慮して議論をし、様々な意見・利害を公平・公正に調整して合意を形成することができたか。

①自分の意見を積極的に分かりやすく述べることが できた できなかった

②自分と異なる見解にも十分配慮して議論をすることが できた できなかった

③様々な意見・利害を公平・公正に調整することが できた できなかった

【理由】